

NKE社長 中村道一氏



# 挑む

モノづくり ヒトづくり

NKE(京都府長岡京市、中村道一社長、075・955・0071)は、自動機を中心とした産業機器メーカー。モノづくりの基礎に据える手法が、創業者で前社長の中村圭一会長が提唱した「BBS(ブロック・ビルディング・システム)」。機能ごとに標準化したユニットを組み合わせて装置を開発、さまざまなソリューションを提供してきた。モノづくりをDNAとして受け継ぐ中村道一社長に聞いた。

(京都支局長・平野健)

「アクチュエーター、計図を描いていると、スライドシリンダーなどの顧客の図面にも同じ要素があることに気づき、標準化というアイデアが生まれた。プロニクス機器開発に威

力を発揮している」顧客の評価はいかがですか。

「標準化されたユニットを構築してきて生産システムや部品、ユニットなどを収容した『エンジニアリング データベ



最近標準化された高速長尺ワイヤ搬送機

↑ ユニットを利用するため、開発期間の短縮が期待でき、また、耐久性やメンテナンス性が高いと好評だ。古い自動機のオーバーホール依頼が寄せられるが、標準化された部品の交換などで済み、慣れた機械をずっと使える、と喜ばれている」

## 標準化ユニット利用が奏功

### 非付加価値工程を改善

生産ラインの効率化には付加価値工程、非付加価値工程の二つの工程の改善が必要だ。NKEは部品供給や搬送など直接的にモノを生産しない非付加価値工程の改善をBBSによるシステム構築で提案している。同社が非付加価値工程、一方で顧客は生産や開発にかかる、重要な付加価値工程の改善に注力でき、全体の生産性向上はより効率的に進むと期待される。主力の自動車関連、新規の食品・医薬など提案は着実に広がっている。

ポイント

「1ス」で、設計図や開発費用・期間、特徴などをデータ化した。過去の開発実績を参考にすることで、類似の案件なら経験の浅い営業マンでもスピーディーで的確な提案など機動的な営業活動ができる。技術部門に問い合わせることも減り、技術者は設計など本来業務を強力に後押しする」

# システムの効率構築を提案

「ユーザー要望に的確なシステムを効率構築する手法だ。例えばワイヤ反転システムはエアリーチャック、ロータリ

